



'19/冬号 VOL. 23

おかもと陽子



守りたい!あなたの生命、生活を

通信

今年も
頑張るば
い



発行

責任者 岡本陽子 宗像市自由ヶ丘7-6-1 Mail: taiyoudaisukinayoko@gmail.com

12月定例議会でエアコン設置に関する一般会計補正予算 全員賛成で可決

(12月21日本会議)

予算総額9億2,624万円

一步前進です!!!

国庫補助金1億2,624万円、市債発行1億6,237万円

国庫補助金の活用により市の負担は最小限に縮小。設置後13年間で返済する。PFI事業で実施。

市内小中学校の普通教室(375教室)にエアコン設置

宗像市の今年の7、8月の気温は、人の体温近くの35°C~37°C未満の日が14日。来年夏休み中の工事完了、2学期9月に稼働するためにいかに効率よく設備を設置するかが課題。議会からは機材の調達、人材の確保が困難になることが懸念されるため1日も早い稼働の実現に向け最善の努力が成されることを願うと要望した。



学校を守れ

公明党の実績

学校の安全対策

《エアコン設置、危険なブロック塀対策編》

平成30年度補正予算
公明党の国会論戦から

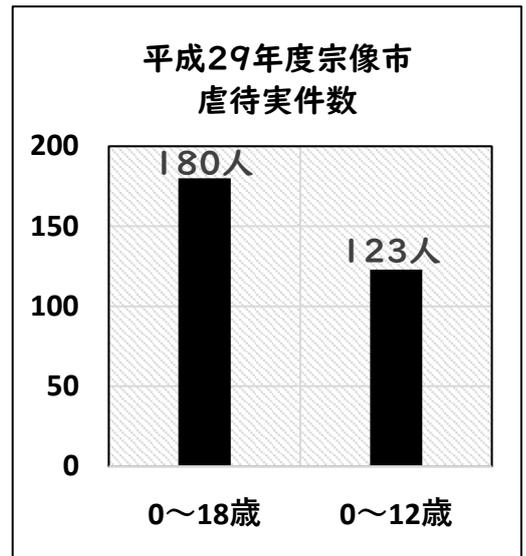


- 全国公立小中学校普通教室のうち未設置の約17万教室全てに設置するための予算計上・・・822億円
- 設置後のメンテナンスなどのランニングコストについて2019年度より普通交付税での措置検討の答弁
- エアコン設置工事集中について事業者への需要量の情報提供、予算繰り越しも可能になるよう準備する
- 公立小中学校の倒壊の危険があるブロック塀の改修への予算計上・・・259億円

裏面に一般質問を掲載しています。是非ご覧ください。

児童虐待が予防できるまちに

今年「今日よりもっとできるようにするからもうおねがいゆるしてください。」と書き残し虐待により死亡した目黒5歳女児。通常、児童相談所は「重大な事案」だと判断した場合は警察へ通報するが、今回通報しなかった理由について「**両親との関係構築を優先するため**」と話している。宗像市においても虐待件数は年々増えている。虐待を予防するために必要な地域との連携、児相、市の子ども家庭相談室（家児相）、警察との連携強化の必要性、通報システムの課題、虐待する親の福祉、自立支援の在り方についてその現状と課題など、児童虐待の予防、課題解決に向けて市の考え方を質問した。



児童虐待件数は全体の68%

Q. 1

市子ども家庭相談室（家児相）、児相、警察との連携強化が必要ではないか。連携できないことによって必要な対応が遅れているのではないか。

回答

児相につなぐと理由としては、子どもの状況を見て例えば顔から上に傷があるとか、けがの状態がある場合はすぐにつなぐ。怒鳴るということも子どもの心理的虐待にあたりと認識しており、重篤な場合は保護する必要があるため児相につなぐ。警察OBのスクールサポーターは巡回相談、相談活動、児童の安全確保に関する助言も行っている。児童虐待に関しても連携をとって問題解決を図っている。子どもの生命に関わる事案であるため縦割りの組織の中でも連携が一層図られるよう市、児相、警察とも連携とる努力をしていきたい。

Q. 1

市、警察に虐待に気づき通報しても対応がされることなく、逆に事情聴取されるなど通報した側がストレスにさらされることが多い。

回答

児相に直接つながる189の啓蒙は積極的に行っているが、つながりにくさ等の課題が改善されるようにしたい。通報があれば、48時間以内に速やかに確認をとり、児相と連携をとるといふことと、相談先として市の窓口、児相の窓口の周知に努めるとともに、相談がしやすい体制を整えるための調査を行いその結果を報告したい。

Q. 1

虐待により家、里親、保護施設を行ったり来たりしているケースがある。児童の居場所については周囲で判断し、保護が十分なされるべき。

回答

一時保護は児相の判断で行われる。一時保護を繰り返すことについては、子どもにとって負担になるということは児相も同じ認識でいると聞いているので、子どもの最善の利益という視点に立った最適な支援が進められればよいと考えている。子どもを虐待するの保護者の厚生に向けた取り組みも根気強く助言、指導を重ねていきたい。

